



## 2026年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年5月19日

上場会社名 株式会社光陽社 上場取引所 東・名  
 コード番号 7946 URL <https://www.koyosha-inc.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 犬養 岬太  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役業務本部長 (氏名) 小川 杏介 TEL 03-5615-9061  
 定時株主総会開催予定日 2026年6月23日 配当支払開始予定日 2026年6月24日  
 有価証券報告書提出予定日 2026年6月26日  
 決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2026年3月期の連結業績 (2025年4月1日～2026年3月31日)

## (1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期	4,830	2.2	102	69.3	138	33.6	84	38.5
2025年3月期	4,726	5.2	60	△15.5	103	△4.6	60	△58.6

(注) 包括利益 2026年3月期 84百万円 (39.3%) 2025年3月期 60百万円 (△58.6%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益	自己資本当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2026年3月期	31.91	—	4.7	4.5	2.1
2025年3月期	17.95	—	3.2	3.1	1.3

(参考) 持分法投資損益 2026年3月期 ー百万円 2025年3月期 ー百万円

(注) 当社は、2026年3月8日付で普通株式1株につき5株の割合で株式分割を実施しております。2025年3月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり当期純利益を算定しております。

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年3月期	3,002	1,818	60.6	707.43
2025年3月期	3,181	1,788	56.2	673.11

(参考) 自己資本 2026年3月期 1,818百万円 2025年3月期 1,788百万円

(注) 当社は、2026年3月8日付で普通株式1株につき5株の割合で株式分割を実施しております。2025年3月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり純資産を算定しております。

## (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2026年3月期	138	23	△153	934
2025年3月期	14	△77	△148	925

## 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額(合計)	配当性向(連結)	純資産配当率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2025年3月期	—	0.00	—	34.00	34.00	18	29.8	1.0
2026年3月期	—	0.00	—	10.00	10.00	25	30.6	1.4
2027年3月期(予想)	—	0.00	—	11.00	11.00			

(注) 当社は、2026年3月8日付で普通株式1株につき5株の割合で株式分割を実施しております。2025年3月期については当該株式分割前の実際の配当金の額を記載しております。

## 3. 2027年3月期の連結業績予想 (2026年4月1日～2027年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通 期	5,000	3.5	110	7.4	140	0.8	90	35.01

※ 注記事項

- (1) 期中における連結範囲の重要な変更 : 無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年3月期	4,250,500株	2025年3月期	4,250,500株
② 期末自己株式数	2026年3月期	1,680,160株	2025年3月期	1,592,750株
③ 期中平均株式数	2026年3月期	2,635,122株	2025年3月期	3,381,050株

(注) 当社は、2026年3月8日付で普通株式1株につき5株の割合で株式分割を実施しております。2025年3月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり当期純利益を算定しております。

(参考) 個別業績の概要

2026年3月期の個別業績（2025年4月1日～2026年3月31日）

(1) 個別経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期	4,620	1.7	100	54.5	155	24.2	98	19.1
2025年3月期	4,541	5.2	65	15.2	125	24.2	82	△39.3

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期	37.30	—
2025年3月期	24.40	—

(注) 当社は、2026年3月8日付で普通株式1株につき5株の割合で株式分割を実施しております。2025年3月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり当期純利益を算定しております。

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年3月期	2,997	1,833	61.2	713.44
2025年3月期	3,173	1,790	56.4	673.58

(参考) 自己資本 2026年3月期 1,833百万円 2025年3月期 1,790百万円

(注) 当社は、2026年3月8日付で普通株式1株につき5株の割合で株式分割を実施しております。2025年3月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり純資産を算定しております。

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	3
(4) 今後の見通し .....	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	3
3. 連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 連結貸借対照表 .....	4
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	6
(連結損益計算書) .....	6
(連結包括利益計算書) .....	7
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	8
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	10
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	12
(継続企業の前提に関する注記) .....	12
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	12
(セグメント情報等の注記) .....	12
(1株当たり情報) .....	13
(重要な後発事象) .....	13

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、雇用や所得環境の改善、個人消費の持ち直しなどにより、景気は緩やかな回復基調で推移しました。一方、地政学リスクの長期化、インフレや円安による物価高が個人消費に与える影響も懸念されており、依然として先行き不透明な状況が続いております。

印刷業界におきましては、原材料価格の高騰の影響、急速に進む印刷物のデジタル化や広告の減少等で、引き続き厳しい経営環境となりました。

このような状況の中、当社グループは、カーボンオフセット（カーボンニュートラルプリント、カーボンゼロプリント）関連の販路を拡大し、環境配慮型印刷を通じて脱炭素化への取り組みを推進しております。また、紙媒体とデジタルの両方を連携させ、より高いマーケティング効果を実現させるデジタルマーケティング事業や、Web運用などの面倒なデジタル業務を丸ごとお任せいただける定額制Webサービスの提供など、紙メディアからデジタルメディアまで、幅広い分野での事業展開を図ってまいりました。さらに、営業力・提案力の強化を図り、新規顧客の開拓と既存顧客の深耕に注力するとともに、生産効率の向上、更なる内製化の推進により、売上の拡大、収益性の改善に取り組んでまいりました。

以上のとおり、経営全般にわたる諸施策の展開に努めた結果、当連結会計年度における売上高は48億30百万円（前期比2.2%増収）となりました。その内訳は製品制作売上高7億83百万円（前期比2.9%増収）、印刷売上高40億46百万円（前期比2.7%増収）、商品売上高0百万円（前期比96.2%減収）となりました。損益面においては、営業利益1億2百万円（前期比69.3%増益）、経常利益1億38百万円（前期比33.6%増益）、親会社株主に帰属する当期純利益84百万円（前期比38.5%増益）となりました。

### (2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度末の流動資産は21億1百万円となり、前連結会計年度末に比べて11百万円増加しました。これは主に、有価証券が1億円増加したことと、現金及び預金が68百万円減少したことによるものです。有形固定資産の合計は7億96百万円となり、前連結会計年度末に比べて83百万円減少しました。これは主に、機械装置及び運搬具（純額）の新規取得14百万円、建設仮勘定17百万円の増加と、減価償却費1億20百万円の計上によるものです。無形固定資産の合計は20百万円となり、前連結会計年度末に比べて7百万円減少しました。これは主に、減価償却費8百万円の計上によるものです。投資その他の資産は83百万円となり、前連結会計年度末に比べて1億円減少しました。これは主に、投資有価証券が92百万円の減少したことによるものです。前述の結果、固定資産合計は9億円となり、前連結会計年度末に比べて1億91百万円減少しました。以上の結果、資産合計は30億2百万円となり、前連結会計年度末に比べて1億79百万円減少しました。

当連結会計年度末の流動負債は6億5百万円となり、前連結会計年度末に比べて1億18百万円減少しました。これは主に、支払手形及び買掛金が97百万円減少したことによるものです。固定負債は5億78百万円となり、前連結会計年度末に比べて90百万円の減少となりました。これは、長期借入金の返済による減少77百万円と退職給付に係る負債12百万円の減少によるものです。前述の結果、負債合計は11億83百万円となり、前連結会計年度末に比べて2億9百万円の減少となりました。

当連結会計年度末の純資産合計は18億18百万円となり、前連結会計年度末に比べて29百万円増加しました。これは主に、親会社に帰属する当期純利益84百万円による利益剰余金の増加、自己株式の取得34百万円と剰余金の配当による減少18百万円によるものです。

以上の結果、負債純資産合計は30億2百万円となり、前連結会計年度末に比べて1億79百万円の減少となりました。

## (3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、営業活動によるキャッシュ・フローで1億38百万円増加、投資活動によるキャッシュ・フローで23百万円増加、財務活動によるキャッシュ・フローで1億53百万円減少し、資金は8百万円増加となり、当連結会計年度末残高は9億34百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度末において営業活動における資金は、1億38百万円の増加となりました。これは主に税金等調整前当期純利益1億40百万円、減価償却費の計上1億31百万円による資金の増加と、仕入債務の減少額97百万円、法人税等の支払額64百万円の資金の減少によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度末において投資活動における資金は、23百万円の増加となりました。これは主に定期預金の払戻による収入1億50百万円の資金の増加と、定期預金の預入による支出73百万円、有形固定資産の取得による支出44百万円の資金の減少によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度末において財務活動における資金は、1億53百万円の減少となりました。これは主に長期借入金の返済による支出85百万円、自己株式の取得による支出50百万円によるものです。

## (4) 今後の見通し

今後の見通しにつきましては、国内において、雇用・所得環境の改善や各種政策の効果により、緩やかな回復基調が続くものと見込まれます。一方で、不安定な国際情勢、金融資本市場の変動、物価上昇の継続など、先行き不透明な経済状況が続くものと思われま

す。印刷業界においては、従前からの電子メディアの多様化による印刷物の需要の減少、厳しいコスト競争、原材料価格の高騰の影響、若年層の採用や人材確保の難しさ等、厳しい経営環境が続くことが想定されます。

2026年度は、カーボンオフセット関連、サステナビリティ関連の販路を更に拡大し、デジタルマーケティングやダイレクトメールの顧客への提案力を強化してまいります。

2026年4月より飯能プリンティングセンターBASEにて、トータル物流サービス「プリロジ」を開始しました。印刷物の製造だけでなく、在庫の保管・管理、ピッキング、アッセンブリ、発送業務までを一括でサポートする、印刷会社ならではのトータル物流サービスです。

引き続き、当社が長年培ってまいりました経験・知見を生かし、時代のニーズに即した新たな視点での営業提案により、新規顧客の開拓と既存顧客の深耕に注力いたします。また、印刷ワンストップ体制を活かした営業を通じ、お客様のニーズ・課題を解決し、より大きな付加価値をお客様にご提供することにより売上の確保・拡大を目指してまいります。更に、生産技術及び生産効率の向上によるコストダウンを推進し、構造的な収益性をより一層高め

てまいります。以上を踏まえ、次期の業績見通しにつきましては、売上高50億円、営業利益1億10百万円、経常利益1億40百万円、親会社に帰属する当期純利益90百万円を見込んでおります。

なお、上記の業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社は、国際的な事業展開や資金調達を行っておりませんので、日本基準に基づき財務諸表を作成して

おります。

## 3. 連結財務諸表及び主な注記

## (1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当連結会計年度 (2026年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,005,863	937,781
受取手形	85,689	27,051
電子記録債権	119,979	142,373
売掛金	709,400	710,347
有価証券	—	100,000
商品	1,011	733
仕掛品	70,852	45,504
原材料及び貯蔵品	35,743	33,466
その他	62,871	106,119
貸倒引当金	△1,571	△1,546
流動資産合計	2,089,839	2,101,832
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	426,965	383,653
機械装置及び運搬具(純額)	218,877	166,739
土地	209,412	209,412
建設仮勘定	—	17,240
その他(純額)	25,368	19,690
有形固定資産合計	880,625	796,736
無形固定資産		
その他	27,724	20,136
無形固定資産合計	27,724	20,136
投資その他の資産		
投資有価証券	113,349	21,075
繰延税金資産	36,199	39,095
その他	40,488	29,524
貸倒引当金	△6,296	△6,224
投資その他の資産合計	183,740	83,470
固定資産合計	1,092,089	900,343
資産合計	3,181,929	3,002,176
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	422,798	324,801
1年内返済予定の長期借入金	85,352	77,852
未払金	38,728	36,077
未払法人税等	36,870	37,262
契約負債	17,936	12,214
賞与引当金	45,870	50,581
その他	76,610	66,700
流動負債合計	724,166	605,489
固定負債		
長期借入金	348,158	270,306
退職給付に係る負債	320,650	308,052
固定負債合計	668,808	578,358
負債合計	1,392,975	1,183,847

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当連結会計年度 (2026年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金	1,392,597	1,390,088
利益剰余金	707,031	773,049
自己株式	△411,084	△445,623
株主資本合計	1,788,545	1,817,513
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	408	815
その他の包括利益累計額合計	408	815
純資産合計	1,788,953	1,818,328
負債純資産合計	3,181,929	3,002,176

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書  
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
売上高	4,726,835	4,830,830
売上原価	3,712,830	3,760,714
売上総利益	1,014,004	1,070,115
販売費及び一般管理費	953,528	967,702
営業利益	60,476	102,412
営業外収益		
受取利息	1,105	2,825
受取保険料	10,414	—
賃貸収入	2,660	1,860
作業くず売却益	29,762	35,460
その他	5,683	3,554
営業外収益合計	49,625	43,700
営業外費用		
支払利息	1,818	2,988
支払補償費	4,086	3,209
その他	252	1,072
営業外費用合計	6,157	7,271
経常利益	103,944	138,841
特別利益		
固定資産売却益	—	8,499
その他	—	199
特別利益合計	—	8,699
特別損失		
固定資産除却損	0	0
投資有価証券評価損	—	6,886
特別損失合計	0	6,886
税金等調整前当期純利益	103,944	140,655
法人税、住民税及び事業税	50,172	59,698
法人税等調整額	△6,922	△3,133
法人税等合計	43,249	56,565
当期純利益	60,694	84,090
親会社株主に帰属する当期純利益	60,694	84,090

## (連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
当期純利益	60,694	84,090
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△20	406
その他の包括利益合計	△20	406
包括利益	60,673	84,496
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	60,673	84,496

## (3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	100,000	2,100,572	680,418	△923,919	1,957,072
当期変動額					
剰余金の配当			△34,081		△34,081
親会社株主に帰属する 当期純利益			60,694		60,694
自己株式の取得				△195,139	△195,139
自己株式の消却		△707,975		707,975	—
株主資本以外の項目 の当期変動額(純額)					
当期変動額合計		△707,975	26,612	512,835	△168,526
当期末残高	100,000	1,392,597	707,031	△411,084	1,788,545

	その他の包括利益累計額		純資産合計
	その他 有価証券 評価差額金	その他の 包括利益 累計額合計	
当期首残高	429	429	1,957,501
当期変動額			
剰余金の配当			△34,081
親会社株主に帰属する 当期純利益			60,694
自己株式の取得			△195,139
自己株式の消却			—
株主資本以外の項目 の当期変動額(純額)	△20	△20	△20
当期変動額合計	△20	△20	△168,547
当期末残高	408	408	1,788,953

当連結会計年度(自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	100,000	1,392,597	707,031	△411,084	1,788,545
当期変動額					
剰余金の配当			△18,072		△18,072
親会社株主に帰属する 当期純利益			84,090		84,090
自己株式の取得				△34,539	△34,539
譲渡制限付株式報酬		△2,509			△2,509
株主資本以外の項目 の当期変動額(純額)					
当期変動額合計		△2,509	66,017	△34,539	28,968
当期末残高	100,000	1,390,088	773,049	△445,623	1,817,513

	その他の包括利益累計額		純資産合計
	その他 有価証券 評価差額金	その他の 包括利益 累計額合計	
当期首残高	408	408	1,788,953
当期変動額			
剰余金の配当			△18,072
親会社株主に帰属する 当期純利益			84,090
自己株式の取得			△34,539
譲渡制限付株式報酬			△2,509
株主資本以外の項目 の当期変動額(純額)	406	406	406
当期変動額合計	406	406	29,374
当期末残高	815	815	1,818,328

## (4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純利益	103,944	140,655
減価償却費	159,921	131,086
固定資産除却損	0	0
固定資産売却損益(△は益)	—	△8,499
貸倒引当金の増減額(△は減少)	2,642	△98
賞与引当金の増減額(△は減少)	△3,505	4,710
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△10,030	△12,598
売上債権の増減額(△は増加)	△38,924	36,130
棚卸資産の増減額(△は増加)	31,080	27,902
その他の流動資産の増減額(△は増加)	3,582	△23,460
仕入債務の増減額(△は減少)	△216,703	△97,996
未払金の増減額(△は減少)	△4,956	4,089
未払消費税等の増減額(△は減少)	31,357	△8,720
その他の流動負債の増減額(△は減少)	△11,453	△6,289
投資有価証券評価損益(△は益)	—	6,886
受取利息及び受取配当金	△1,107	△2,853
支払利息	1,818	2,988
その他	4,106	5,410
小計	51,772	199,342
利息及び配当金の受取額	562	1,769
利息の支払額	△1,878	△2,964
法人税等の支払額	△36,325	△64,656
法人税等の還付額	0	5,303
営業活動によるキャッシュ・フロー	14,130	138,794
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△150,000	△73,000
定期預金の払戻による収入	200,000	150,000
投資有価証券の取得による支出	△100,249	△14,030
投資有価証券の売却による収入	—	200
保険積立金の解約による収入	72,060	—
有形固定資産の取得による支出	△92,630	△44,289
有形固定資産の売却による収入	—	8,500
無形固定資産の取得による支出	△3,550	△700
差入保証金の差入による支出	△65	—
差入保証金の回収による収入	114	249
出資金の払込による支出	—	△1,000
その他	△2,681	△2,022
投資活動によるキャッシュ・フロー	△77,002	23,906

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△79,351	△85,352
長期借入れによる収入	160,000	—
自己株式の取得による支出	△195,139	△50,358
配当金の支払額	△34,081	△18,072
財務活動によるキャッシュ・フロー	△148,572	△153,783
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	—
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△211,443	8,917
現金及び現金同等物の期首残高	1,137,307	925,863
現金及び現金同等物の期末残高	925,863	934,781

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

当社グループの事業セグメントは、印刷関連事業のみの単一セグメントであるため、記載を省略しております。

【関連情報】

前連結会計年度(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

1. 製品及びサービスごとの情報

単一の製品・サービスの区分の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載を省略しております。

当連結会計年度(自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)

1. 製品及びサービスごとの情報

単一の製品・サービスの区分の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

## 3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載を省略しております。

## 【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

該当事項はありません。

当連結会計年度(自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)

該当事項はありません。

## 【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

前連結会計年度(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

該当事項はありません。

当連結会計年度(自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)

該当事項はありません。

## 【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

前連結会計年度(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

該当事項はありません。

当連結会計年度(自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)

該当事項はありません。

## (1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
1株当たり純資産額	673.11円	707.43円
1株当たり当期純利益	17.95円	31.91円

- (注) 1. 当社は、2026年3月8日付で普通株式1株を5株とする株式分割を実施したため、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり純資産額および当期純利益を算定しております。潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
2. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
3. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	60,694	84,090
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	60,694	84,090
普通株式の期中平均株式数(千株)	3,381	2,635

## (重要な後発事象)

該当事項はありません。